

# 日生協企業年金基金

## 年金 だより

2021年9月



今回からホームページにも掲載しています。

### マイナンバー制度への対応について

2016年1月よりマイナンバー(個人番号)制度が開始され、基金が税務署・市区町村へ提出する「公的年金等の源泉徴収票」に2017年1月から年金受給者のマイナンバーを記載する必要があります。

基金では皆様のご負担(マイナンバー関係書類の提出等)を軽減するために企業年金連合会を通じてマイナンバーを取得させていただいております。但し、何らかの事情により取得できなかった場合は、当基金より皆様に確認させていただきます。

なお、マイナンバーが変更された場合は、当基金へご連絡い

ただけますようお願いいたします。

※1 年金受給者のマイナンバーについては、当基金の年金又は一時金の給付に係る源泉徴収票作成事務においてのみ使用します。

※2 企業年金連合会は、厚生年金保険法及び確定給付企業年金法に基づき厚生労働大臣の認可により設立された法人で、厚生年金基金や確定給付企業年金を脱退された方の年金原資を一元的に管理し給付する事業を行っています。また、住民基本台帳ネットワークより取得した情報の企業年金基金への提供なども行っています。

当基金は、法令及び基金規約に基づいて企業年金連合会と業務委託契約を締結し、マイナンバー情報を提供して頂いております。

## 基金の現況

2021年3月末

当基金には、第1制度と第2制度があります。

○第1制度：第1制度は基金の全加入事業所が実施しています。2005年4月1日に『日生協厚生年金基金』から『日生協企業年金基金』へ移行しました。(公的年金である厚生年金を代行していた部分を国に返上し、厚生年金に上乗せしていた部分を引き継ぎました。)この移行した制度が第1制度です。

○第2制度：第2制度は基金の加入事業所のうち、任意の事業所が実施しています。2012年3月末に廃止された税制適格退職年金制度及び各生協の退職金制度の受け皿として2010年12月1日に新設した制度です。

### 事業所数(件)

第1制度	395
第2制度	199

### 加入者数(人)

	男子	女子	計
第1制度	26,497	21,893	48,390
第2制度	11,449	4,052	15,501

### 平均掛金月額(円)

	男子	女子	計
第1制度	4,332	3,277	3,855
第2制度	15,126	12,190	14,378

※第1制度は平均標準給与月額に1.2%を乗じて算出しています。

### 年金受給者数(人)

	男子	女子	計
第1制度	1,328	1,467	2,795
第2制度	232	80	312

## 福祉給付(件数：人、金額：千円)

(自2020年4月 至2021年3月)

死亡弔慰金	件数	金額
	34	1,020

## 年金給付(件数：人、金額：千円)

		第1制度	第2制度
		件数	金額
老齢給付金	件数	1,244	302
	金額	290,992	170,342
5年年金	件数	390	60
	金額	138,663	48,539
10年年金	件数	662	121
	金額	130,882	59,172
15年年金	件数		41
	金額		25,743
20年年金	件数	192	80
	金額	21,445	36,886
第一経過年金	件数	929	
	金額	13,380	
第二経過年金	件数	169	
	金額	33,011	
旧加算年金	件数	950	
	金額	96,874	
他制度から承継した年金	件数		10
	金額		8,539

## 一時金給付(件数：人、金額：千円) (自2020年4月 至2021年3月)

		第1制度	第2制度
		件数	金額
脱退一時金	件数	1,593	428
	金額	621,196	585,097
選択一時金	件数	488	297
	金額	931,609	1,646,305
遺族給付金	件数	50	14
	金額	62,343	87,759
第一経過一時金	件数	97	
	金額	10,181	
他制度から承継した一時金	件数		1
	金額		3,242

# 年金と税金

基金がお支払いする年金は公的年金等の雑所得に含まれ、所得税及び復興特別所得税（以下、「所得税」といいます。）と住民税が課税されます。

基金は年金を支払う際に所得税を源泉徴収することになっていきますので、個人で確定申告を行って税金の過不足をご精算ください。

また、住民税は納税通知に基づいて個人で納めてください。（お勤めされている場合は勤務先が特別徴収し納めます。）なお、65歳以上の方は老齢基礎年金等から住民税が特別徴収されます。

## ◎年金課税のしくみ

- ①国や基金からの公的年金等の収入金額から公的年金等控除額（表1）を差し引き、公的年金等にかかる雑所得額が算出されます。
  - ②他に所得がある場合はその所得と①を合算した金額から所得控除額（表2）を控除して、課税所得金額が算出されます。
  - ③課税所得金額を所得税額の速算表（表3）に当てはめて、所得税額が算出されます。
- ※ 住民税は前年の所得に応じた所得割（税率一律10%）と地域に居住することにより一律負担となる均等割（金額は自治体によって異なります。）があります。

表1 公的年金等控除額

受給者の年齢	年金額 (A)	公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額		
		1,000万円以下	1,000万円超 2,000万円以下	2,000万円超
65歳未満	130万円以下	60万円	50万円	40万円
	130万円超 410万円以下	(A) × 25% + 27.5万円	(A) × 25% + 17.5万円	(A) × 25% + 7.5万円
	410万円超 770万円以下	(A) × 15% + 68.5万円	(A) × 15% + 58.5万円	(A) × 15% + 48.5万円
	770万円超 1,000万円以下	(A) × 5% + 145.5万円	(A) × 5% + 135.5万円	(A) × 5% + 125.5万円
	1,000万円超	195.5万円	185.5万円	175.5万円
65歳以上	330万円以下	110万円	100万円	90万円
	330万円超 410万円以下	(A) × 25% + 27.5万円	(A) × 25% + 17.5万円	(A) × 25% + 7.5万円
	410万円超 770万円以下	(A) × 15% + 68.5万円	(A) × 15% + 58.5万円	(A) × 15% + 48.5万円
	770万円超 1,000万円以下	(A) × 5% + 145.5万円	(A) × 5% + 135.5万円	(A) × 5% + 125.5万円
	1,000万円超	195.5万円	185.5万円	175.5万円

表2 主な所得控除額

控除の種類	控除額
基礎控除(※)	最高48万円
扶養親族除(配偶者以外)	扶養親族が19歳～22歳 63万円
	扶養親族が70歳以上 48万円
	扶養親族が70歳以上の同居老親 58万円
	上記以外の16歳以上の扶養親族 38万円
配偶者控除	最高38万円(70歳以上の配偶者48万円)
生命保険料控除	生命保険料の種類と金額に応じ最高12万円
医療費控除	最高200万円
社会保険料控除	支払保険料全額

(※)2018年度税制改正により、2020年分から公的年金等控除・基礎控除等が見直されました。(基礎控除が10万円引き上げられた代わりに公的年金等控除が10万円引き下げられることになりました。)

表3 所得税額の速算表

課税所得金額 (A)	所得税額
195万円以下	((A)×5%)×102.1%
195万円超 330万円以下	((A)×10% - 97,500円)×102.1%
330万円超 695万円以下	((A)×20% - 427,500円)×102.1%
695万円超 900万円以下	((A)×23% - 636,000円)×102.1%
900万円超 1,800万円以下	((A)×33% - 1,536,000円)×102.1%
1,800万円超 4,000万円以下	((A)×40% - 2,796,000円)×102.1%
4,000万円超	((A)×45% - 4,796,000円)×102.1%

$$\begin{aligned} & \text{公的年金等の収入} - \text{公的年金等控除(表1)} = \text{所得控除(表2)} \\ & \text{所得税の課税所得金額} \times \text{所得税率} - \text{税額控除額} = \text{所得税額} \end{aligned}$$

## ◎扶養親族等の申告書の提出

公的年金については、日本年金機構から毎年11月頃に送付される「扶養親族等申告書」を期限までに提出されると、公的年金等控除、配偶者控除などの所得控除が適用されたうえで、所得税が源泉徴収されます。

確定給付企業年金法に基づく基金の年金は、所得税法の定めにより扶養申告書等の申告書を提出することはできず、支給年金額から一律7.6575%（所得税率7.5%に復興特別所得税を加算）の所得税を源泉徴収することになっています。

## ◎確定申告による精算と手続き

基金の年金は、お支払いの際に一律7.6575%の所得税を源泉徴収していること、また社会保険料控除や医療費控除などを受けることができないことから、確定申告で所得税の過不足をご精算ください。

確定申告は、1月～12月の1年間に生じたすべての所得について、翌年2月16日～3月15日の間に行う必要があ

り、確定申告に必要な当基金の「公的年金等の源泉徴収票」は、毎年1月末に発送しますのでご確認ください。

なお、確定申告の詳細については税務署発行の「確定申告の手引き」や国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp/>) 等をご参照ください。

# 決算のお知らせ

2020年度の資産運用は堅調に推移し、最終的には7.83%の修正総合利回りとなりました。

これにより当年度の収入は掛金等収入49億円と運用収益74億円を合わせた約123億円となり、総資産は約1,033億円と一千億円を超える結果となりました。

また、この積立状況に基づいて財政検証を行った結果、全ての基準値を上回り、基金財政の健全性が保たれていることを確認しました。

## 2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)の収支状況は

収入 12,311百万円

事業主が支払った掛金等	掛金等収入	4,935百万円
年金資産運用による収益	運用収益	7,376百万円

支出 12,311百万円

給付費	4,608百万円	年金・一時金を支給した額(移換額を含む)
運用報酬等	334百万円	信託銀行・生命保険会社等に支払った運用手数料・業務委託費等
責任準備金増加額	7,369百万円	責任準備金が前年度より増加した額

## 2020年度末(2021年3月31日現在)の年金資産の積立状況は

資産 103,316百万円

年金資産	103,316百万円
( 信託資産	79,566百万円
保険資産	22,513百万円
預貯金等	1,237百万円

負債 103,316百万円

責任準備金	89,975百万円	将来の年金給付のために現時点で保有していなければならない額と財政悪化に備えた準備金を合わせた額
支払備金等	1,185百万円	未払給付費などの支払準備金
別途積立金	12,156百万円	前年度末までに積み立てた剰余金

※上記は法律改正に基づく新しい財政運営基準を反映した決算報告となっています。

これまでは将来の給付支払いへの備えを「責任準備金」として積み立てていましたが、今後はそれに加えて、災害やパンデミック・金融危機等の影響による財政悪化に備えて一定額まで積み立てが可能となりました。(一定額を超えると、その額が剰余金となります。)当年度において剰余金は発生しておりませんが、その分準備金が積み増され基金財政は更に安定したものとなっております。

## 安心できる年金給付のために 2つの検証で積立状況をチェック

皆さんの将来の年金給付を確かなものとするために、基金では毎年度、保有する資産について「継続基準」と「非継続基準」という2つの基準で積立状況をチェックしています。「継続基準」による検証では、基金が今後も継続していくことを前提として年金給付に必要な積立金が確保されているかどうかを検証し、「非継続基準」による検証では、制度が当年度末時点で終了すると仮定した場合に年金給付に見合う積立金があるかどうかを検証します。

区分	当基金の積立水準		基準値
継続基準	純資産額	102,132百万円	1.00以上
	責任準備金	89,975百万円	
非継続基準	純資産額	102,132百万円	1.00以上
	最低積立基準額	84,167百万円	

当基金におきましては、監事2名による内部監査に加え、監査法人による外部監査を受けております。2020年度決算の監査結果につきましては、会計上の重要な問題はありませんでした。

# 各種届出の お願い

年金を受け始めてから、次の①、②に該当した場合は、まず、日生協企業年金基金宛(03-3497-0881)に電話でご連絡ください。

## ① 住所・受取方法・氏名を変更する場合の手続き

住所や氏名が変わったとき、年金の受取口座を変えたいときは「年金受給者住所・受取方法・氏名変更届」を基金にご提出ください。

変更届は「年金のしおり」にあります。使用または紛失等によりお手元に無い場合は基金宛にご連絡ください。

## ② 年金受給者の方が亡くなられた場合の手続き

年金受給者の方が亡くなられた場合、ご遺族の方は基金へご連絡ください。

ご連絡が遅くなりますと、年金の過払いが発生し、後日ご遺族の方からご返金いただく場合があります。

## ③ 現況届について

「現況届」の提出は原則不要です。

年金受給者の方の現況は、住民基本台帳ネットワークの情報により確認させていただいておりますので、この情報により確認がとれた受給者につきましては、「現況届」は提出不要です。

ただし、この情報で確認できなかった年金受給者の方につきましては、誕生月の前月末に基金から「現況届」をお送りしますので、必要事項をご記入のうえ切手を貼付けて誕生月の末日までにご提出ください。

なお、指定期日までにご提出がない場合は、年金のお支払いが一時止まりますのでご注意ください。

やって損なし!

## 認知症予防習慣

認知症は、生活習慣を改善することで発症のリスクを下げることができます。以下の項目を参考にいきいきと過ごし、認知症を予防しましょう。

### 運動 体を動かして脳を活性化!

ジョギングなどの有酸素運動やスクワットなどのレジスタンス運動、片足立ちなどのバランス運動が効果的です。自分の体と相談しながら無理のないペースで取り組みましょう。家族や仲間と一緒にするのもおすすめです。



散歩しながら脳トレにもなる  
スマホゲーム「ポケモンGO」は  
予防効果アリ!

### 禁煙

喫煙者は吸わない人に比べて認知症を発症するリスクが2.2倍ですが、何歳からでも禁煙すれば大きな健康改善をもたらすといわれています。自分や家族の健康のためにも禁煙を。

### お口

歯が少なく入れ歯も使わない人は、歯が20本以上残っている人に比べ認知症のリスクが約2倍に。丁寧な歯みがきと定期的な歯科健診でお口の中を健康に保ちましょう。

### 食事 おいしく食べて健康に!

1日3食を規則正しく、栄養バランスを考えて食べることが大切です。昼食で不足したものを夕食で補うなど、1度の食事で摂りきれない場合は1日の中で過不足なく摂取できるように調整をしましょう。

おすすめ食材の合言葉「まごたちわやさしい」



### 人との関わり・趣味

人や社会とのつながりは認知症を予防します。誰かと旅行に出かけたり、読書や音楽、新しい料理に挑戦するなどの刺激を日常に取り入れ、日々を積極的に過ごしましょう。

### 番外編

## 認知機能を鍛える「脳トレーニング」

一昨日の朝食のメニューを思い出す

散歩しながら引き算をする

体操しながらしりとりをする

## 家族が 認知症になったときは…

認知症は自分が患者になるだけでなく、介護する側になる可能性も高い病気です。自治体などでは、「認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会」を目指した様々な取り組みが進められています。もし身近な人が認知症になったとしても、一人で抱え込まずに必ず誰かに相談しましょう。

### 心得

- その1 頑張りすぎない
- その2 一人で抱え込まない
- その3 他人と比べない

患者もご家族も  
前向きに、一日一日を  
楽しく暮らしましょう!

